

### Ⅲ 各地区で用いた手引きと解説

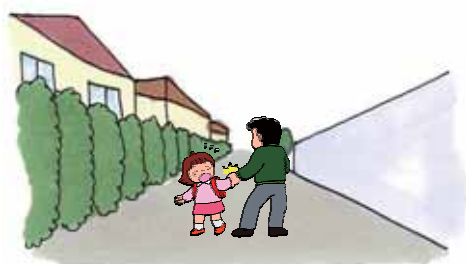


本章では、各調査とも地域の特性や状況を踏まえてカスタマイズされた調査の手引きを掲載するとともに、調査にあたっての配慮・工夫点を吹き出しで追記しています。

旭川市近文地区・みまもり量調査の手引き.....	15
松山市久米地区・車の通り抜け調査の手引き.....	31
旭川市近文地区・くらがり調査の手引き.....	43
松山市久米地区・身近な公園調査の手引き.....	57

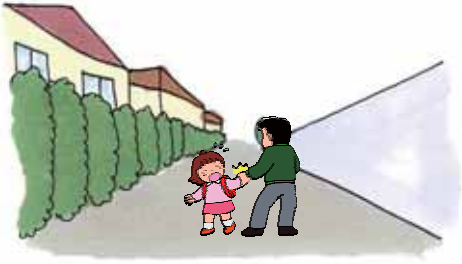


# 旭川市近文地区 みまもり量調査の手引き



1. みまもり量調査の目的 …………… 16
2. 調査方法 …………… 17
  - A 日常型みまもり量調査（日常調査）
    - A-1. 調査の内容 …………… 18
    - A-2. 調査の準備 …………… 19
    - A-3. 調査スケジュール …………… 19
    - A-4. 調査の実施方法 …………… 20
    - A-5. 調査にあたっての注意点 …… 22
  - B 集中型みまもり量調査（集中調査）
    - B-1. 調査の内容 …………… 23
    - B-2. 調査の準備 …………… 24
    - B-3. 調査スケジュール …………… 25
    - B-4. 調査の実施方法 …………… 26
    - B-5. 調査にあたっての注意点 …… 29

## 1. みまもり量調査の目的



### 背景、現状・問題認識

防犯まちづくりでは、人の目の存在がきわめて重要であるとされます。しかし近年では、特に住宅地において、核家族世帯や共働き世帯の増加などのライフスタイルの変化、それに伴う近所づきあいの希薄化、屋外での活動の減少により、地域の公共空間に注がれる自然な人の目が減少していると言われています。

人気のない道路は不安を感じます。見通しが確保されていても、そこをみまもる人がいることも必要です。パトロールや、朝夕の通勤通学の人、日中の散歩や買い物の人など、人の往来によって犯罪のしにくい状況が生まれます。道を行きかう人が挨拶をしあう状況が生まれれば、より安心を感じるでしょう。



### 意義、必要性

街には、見通しのよさと善意のみまもりの目が必要です。みまもりの少ない場所や時間帯がわかれば、パトロールの計画づくりなど、地域のみまもりを増やす検討の材料になります。

パトロールを実施してみまもりを増やす他に、自然なみまもりを増やすためには、散歩や庭いじりなどの個人の活動もよいでしょう。みまもりを増やすことは、地域のにぎわいをうみだします。さまざまな地域の活動、まちづくり活動もみまもりの増加に貢献するでしょう。

### 目的

「近文あい運動」では、2006年冬から近文小学校の下校時にみまもり運動を続け、犯罪や交通事故に対する児童の危険遭遇人数割合や件数、箇所数が減少しています。

今回の調査は、“みまもりの目”が実際にどれくらいあるのかを把握し、今後の「近文あい運動」のみまもりの方法の改善などに役立てるために実施するものです。

## 2. 調査方法



「防犯まちづくりのための調査の手引き」(2009年)掲載の「みまもり量調査」の分類について、下記のように名称を改訂しました。

継続型調査⇒日常調査  
イベント型調査⇒集中調査

みまもり量を調べる以下の2種類の調査を実施します。近文地区では、B→Aの順序で調査を実施しました。

### A 日常型みまもり量調査(日常調査)

散歩や買物などをおこなって、それぞれの方が、決められた時間帯の中で任意の時間に行います。継続的に実施することで、季節や時間、天候による変化をみることができます。

自ら調査を行うことで、地域の方々の地域への関心や問題意識が高まります。

公園の近くを買物のついでに調査します。

小学校の近くを散歩のついでに調査します。

調査そのものがみまもり活動にもなります。



### B 集中型みまもり量調査(集中調査)

決められた日時に調査します。決められた時間間隔、ルート、方向に調査します。一度に多くの人手が必要ですが、一日で調査できます。

事前に十分な説明を行うことで綿密かつ計画的な調査ができます。

各ルートの調査員2名は、決められた時間にそれぞれ逆方向に歩き始めます。1時間に3回程度調査を行います。





近文地区では、集中調査⇒日常調査の順番で調査を行うことにしました。

このように、集中調査を実施した後に、日常調査を行うことで

- ・調査経験者がいることで、調査に対する不安が軽減する
- ・調査経験者に調査の仕方を尋ねることで、手法の伝達が進みやすい
- ・調査経験者を中心に、模擬調査を実施できる

といった効果が期待でき、日常調査がよりスムーズに進むと考えられます。

また、近文地区では、集中調査で人通りの極めて少なかったルートについて対象から外すといった日常調査の調査対象の絞り込みにも役立ちました。

## A 日常型みまもり量調査（日常調査）

### 1. 調査の内容

#### (1) 調査対象

地域の中で、「子どもが多い」「高齢化が進んでいる」「アパートが多い」「空地・空家が多い」など、防犯に関連した特徴のあるルートと回り方を事前に設定しました。

対象地域	ルート名	ルート名
ルート1 北門中学校付近	右回りコース	左回りコース
	〇〇町の方	〇〇町の方
ルート2 はるかぜ公園付近	右回りコース	左回りコース
	〇〇町の方	〇〇町の方



集中調査の結果を踏まえて、極めて少なかったルートを日常調査の対象から外し、日常調査の負担を小さくしました。

また、回り方については、商業施設での買い物のついでに調査しやすいように起点を変更しました。

ルート	区間	距離	特徴
ルート1 北門中学校付近 [調査距離：753m]	①	278m	<ul style="list-style-type: none"> <li>・北門中学校に隣接</li> <li>・戸建住宅・併用住宅、共同住宅(アパート)が混在</li> <li>・戸建住宅は築40年から築浅まで混在</li> </ul>
	②	189m	
	③	154m	
	④	132m	
ルート2 はるかぜ公園付近 [調査距離：796m]	①	170m	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ショッピングセンターが隣接</li> <li>・築20～40年の戸建住宅地</li> </ul>
	②	275m	
	③	172m	
	④	179m	

#### (2) 調査日時

2010年4月の説明会以降、長期に渡って実施します。

調査日	調査時間帯
4月以降の平日で調査員が選択	14時～18時の間

## 2. 調査の準備

### (1) 調査員

公募により、調査ルートのある町内の地元住民を調査員としました。

### (2) 調査道具

各調査員に下記の道具を用意しました。

記録用紙 (兼説明用紙)	20枚/人	足りなくなった場合は、小学校で配布
画板	1枚/人	100枚準備し、必要な方に貸出
調査にあたっての留意点	1枚/人	調査にあたっての注意事項等を明記
広域地図	1枚/人	担当ルートがわかる地図



説明会では、あまり気負いすぎないように調査を実施するように、十分にお願ひしましょう。調査を一人で実施することが不安な方のために、集中調査の経験者や、主催者、専門家と一緒に模擬調査をする機会を設けたり、仲間同士で一緒にまわって練習をしてもらうのも良いでしょう。地域の方々の協力を得るためには、調査の目的・効果について十分な共通認識を持つことが重要です。

## 3. 調査スケジュール

説明会	4月予定
調査期間	○月○日～○月○日
調査時間帯	平日の14時～18時の間
調査票回収※	毎月第○ ○曜日 ○時～○時
提出先	○○町内会○○さん

※月に1回、町内会を通じて回収しました。



調査票は定期的に回収し、参加者に途中経過を知らせましょう。特定のルートや時間帯に偏らないよう修正できます。また、参加者のやる気の継続にもつながります。各調査員の実施曜日をずらして指定することで、偏りを減らす方法も考えられます。

## 4. 調査の実施方法

### (1) 調査時間

平日の14時～18時の時間帯に、天候に関係なく都合の良い日時で実施します。

記録用紙にあるルートを子どもが歩くスピード(約1m/秒)で歩きながら、すれ違う人や自転車、自動車、沿道で活動している人の数を調べます。

1回の調査には15分程度かかります。中断なく回れる時に実施してください。

### (2) 記入内容

#### ①調査日時、天候等

・調査日、天候、調査の開始時刻と終了時刻を記入します。

#### ②歩行者、自転車、自動車・バイク

- ・記録用紙の分類にあわせて、すれ違った人数(車の場合は台数)を「正」の字で記入します。
- ・すれ違った場合のみカウントします(追い越された場合はカウントしません)。
- ・未就学児はカウントしません。

#### ③沿道で活動している人

・道路付近の屋外で移動せずに以下のような活動している人をカウントします。ただし、車庫、風除室、ベランダは屋外に含みます。



近文地区では、積雪期の調査も実施したことから、雪かきも例示しました。地域の实情に応じて例示すると良いでしょう。

#### <沿道活動の例>

立ち話、庭いじり、遊び、仕事(配達など)、掃除、洗濯、みまもり活動、車の手入れ、雪かき

- ・道路の端からおおよそ12m以内の人をカウントします。
- ・活動内容が多かったものについて、自由記入欄に記入してください。



近文地区では、沿道活動の範囲を下記のような理由から12mとしました。

- ・道路に面する宅地1軒分の奥行き=12m程度
- ・学術的に表情がわかるとされる距離=12m

調査員には、生活道路の幅の2倍程度ということで判断してもらいました。地域の实情に応じて、10～15m程度で感覚的にわかりやすい距離を設定すると良いでしょう。





## 5. 調査にあたっての注意点

調査員には注意点として下記の内容を伝えました。



近文地区では、住民活動保険制度が適用されるよう、町内活動として調査を実施しました。旭川市市民委員会連絡協議会（市民連協）が代表となって加入しています。町内会の行事その他の町内会活動中の傷害事故や賠償責任事故が対象となります。

### (1) 一般的な注意事項

- 服装は、動きやすいものとして下さい。また、寒冷時には防寒対策を、晴天時には帽子や水等の熱中症対策を必ず行ってください。

### (2) 調査上の注意事項

- 調査は、正確に実施することが大切ですが、あまり気負わずに実施してください。
- 調査には、10～15分程度を要しますので、時間に余裕のある時に中断なく実施するようにしてください。
- 調査中は事故の無いように周囲の交通状況に十分注意して下さい。
- 調査中に住民などから挨拶された場合は挨拶を返して下さい。
- 調査内容について問われた場合は、事前に配布する調査協力の依頼文を渡すか、下記の緊急連絡先に連絡して下さい。

### (3) 緊急連絡先など

- 調査の内容について不明な点等がありましたら、下記にご連絡ください。

緊急連絡先：

- |      |   |   |
|------|---|---|
| ○○携帯 | — | — |
| ○○携帯 | — | — |

## B 集中型みまもり量調査（集中調査）

### 1. 調査の内容

#### (1) 調査対象

住宅地区の特性の異なる以下の3地区で、各1ルート（延長約1km）を対象としました。



ルート設定にあたっては、住宅地内の道路や商店街などの細い道を対象に選定しました。交通量の多い幹線道路など、常に多くの人目にさらされている場所は対象外としました。

ルート	区間	距離	特 徴
ルート1 北門中学校 付近 [調査距離：753m]	①	278m	<ul style="list-style-type: none"> <li>・北門中学校に隣接</li> <li>・戸建住宅・併用住宅、共同住宅(アパート)が混在</li> <li>・戸建住宅は築40年から築浅まで混在</li> </ul>
	②	189m	
	③	154m	
	④	132m	
ルート2 はるかぜ公園 付近 [調査距離：796m]	①	170m	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ショッピングセンターが隣接</li> <li>・築20～40年の戸建住宅地</li> </ul>
	②	275m	
	③	172m	
	④	179m	
ルート3 緑町20～ 近文町23 [調査距離：739m]	①	228m	<ul style="list-style-type: none"> <li>・築10～20年の戸建住宅</li> <li>・戸建、アパートが混在</li> <li>・築20～40年の戸建住宅</li> <li>・築10年未満の戸建住宅</li> </ul>
	②	172m	
	③	131m	
	④	208m	

#### (2) 調査日時

調査日	時間帯
11月4日(水), 5日(木)	①14～16時
2月2日(火), 3日(水)	②16～18時



季節ごとに調査することで、季節や天候によるみまもり量の違いを把握することができます。なお、集中調査の場合、雨天時等、人通りが極端に減少する可能性がある場合は、調査を延期しましょう。



近文あい運動では、小学生のみまもりを中心に行っていたことから、小学生の下校時間である14:00～18:00に調査を実施しました。また、季節による変化をみるために、集中調査は11月(非積雪期)と2月(積雪期)の2回実施しました。

## 2. 調査の準備

### (1) 調査員・協力者

- ・ 地元住民
- ・ 地元の高校生、大学生
- ・ 地元の社会福祉協議会、行政職員
- ・ まちづくりの専門家（地元の研究所等）



地域のまちづくりNPOや地元の警察の方に協力をお願いしてみるのも良いでしょう。



一人で調査をするのが不安な方や交通量が多い場所では、調査員を2人にして、数える係と記録係に分担しました。トイレ交代等のための補助要員がいると良いでしょう。

### ■調査担当表

11月4日（水）14：00～16：00

ルート	コースA	コースB	補助
ルート1 北門中学校付近	〇〇さん	〇〇さん	
ルート2 はるかぜ公園付近			
ルート3 緑町20～近文町23			

本部連絡係：〇〇



同じルートの右回りと左回りでコースAとBに分けました。（詳細はp26参照）。

11月4日（水）16：00～18：00

ルート	コースA	コースB	補助
ルート1 北門中学校付近	〇〇さん	〇〇さん	
ルート2 はるかぜ公園付近			
ルート3 緑町20～近文町23			

本部連絡係：〇〇



常時巡回して、非常時に本部と連絡をする人のことです。

11月5日（水）14：00～16：00

ルート	コースA	コースB	補助
ルート1 北門中学校付近	〇〇さん	〇〇さん	
ルート2 はるかぜ公園付近			
ルート3 緑町20～近文町23			

本部連絡係：〇〇

11月5日（水）16：00～18：00

ルート	コースA	コースB	補助
ルート1 北門中学校付近	〇〇さん	〇〇さん	
ルート2 はるかぜ公園付近			
ルート3 緑町20～近文町23			

本部連絡係：〇〇

## (2) 調査道具

各調査員に下記の道具を用意しました。

近文あい運動の腕章	1枚	見守り中のあい運動の方と調査員を区別するためバンダナを着用します
バンダナ	1枚	
記録用紙	4枚	2時間分
画板	1枚	
鉛筆	1本	
広域地図	1枚	担当場所がわかる地図



調査日は平日とし、学校が休みの時期やイベントがある日などは避けましょう。

## 3. 調査スケジュール

調査日 : 11月4日(水)、5日(木)

2月2日(火)、3日(水)

調査時間 : ①14~16時、②16~18時



①の時間帯は地域住民、②の時間帯は放課後の高校生も加わって実施しました。



調査に先立ち練習の回を設け、ルートの確認、調査のコツをつかみました。

### ■調査の流れ

①14~16時  
調査

調査の説明	13:10~近文小ランチルーム
練習	14:00~14:15(約15分)
1回目調査	14:20~14:35(約15分)
2回目調査	14:40~14:55(約15分)
3回目調査	15:00~15:15(約15分)
4回目調査	15:20~15:35(約15分)
まとめ	調査終了後、近文小ランチルームで調査結果の確認とアンケートの回答



1回の調査は約10分で終わりますが、余裕をみて15分としています。

②16~18時  
調査

調査の説明	15:10~近文小ランチルーム
練習	16:00~16:15(約15分)
1回目調査	16:20~16:35(約15分)
2回目調査	16:40~16:55(約15分)
3回目調査	17:00~17:15(約15分)
4回目調査	17:20~17:35(約15分)
まとめ	調査終了後、近文小ランチルームで調査結果の確認とアンケートの回答



2つの時間帯にわたり同じ調査員が実施する場合は、近文小に戻らず調査ルート付近で休憩をとりました。



練習中・調査中とも、定期的に本部連絡係が調査ルートを巡回し、調査上の不明な点や困ったことが無いか確認するとともに、トイレ休憩等の交代要員となりました。

## 4. 調査の実施方法



調査員は、決められた時間に決められた方向に出発して、歩きながらすれ違う人や自転車、自動車、沿道で活動する人の数を記録します。調査員（赤いバンダナをした人）、未就学児はカウントしません。

2時間の中で4回実施します。子どもの徒歩（1m/秒）程度の一定のスピードで歩きます。

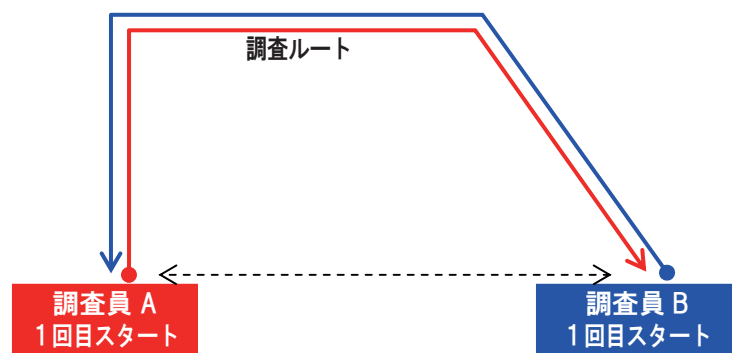
### (1) ルートのまわり方

各調査票に記入されています。

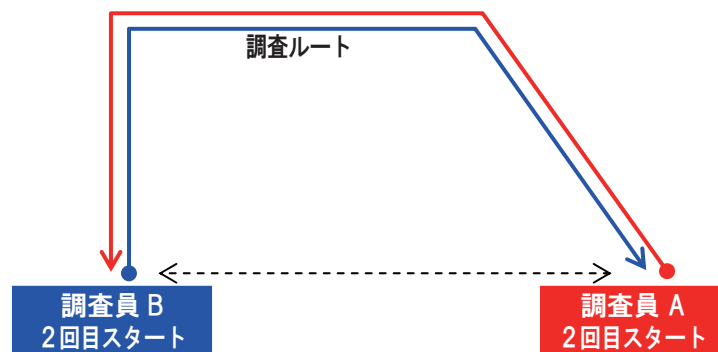


調査のスタート地点とゴール地点が離れている場合は、右回りの調査員と左回りの調査員が交互に回るようにしました。

- 1回目調査 調査員 A は右回りで調査します。  
調査員 B は左回りで調査します。



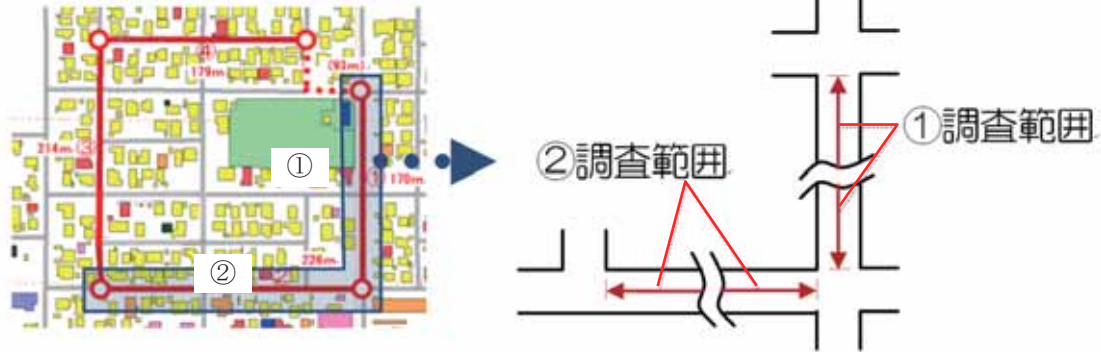
- 2回目調査 各自1回目の調査開始地点に戻らずに、同じルートを逆回りで調査します。





## (2) 調査区間の範囲

交差点部分は含みません。



## (3) 記入内容

### ①調査時刻

- ・調査の開始時刻、各区間の通過時刻、終了時刻を記入します。

### ②歩行者、自転車、自動車・バイク

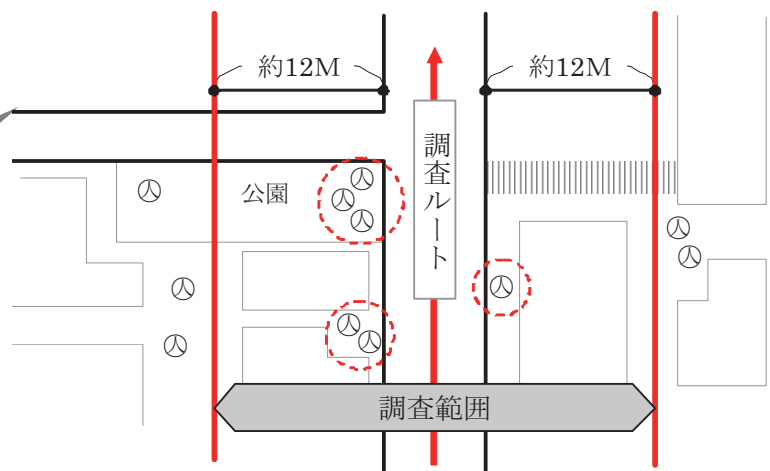
- ・記録用紙の分類にあわせて、すれ違った人数（車の場合は台数）を「正」の字で記入します。
- ・すれ違った場合のみカウントします（追い越された場合はカウントしません）。
- ・未就学児はカウントしません。

### ③沿道で活動している人

- ・道路端からおおよそ 12m の範囲で、その場から移動せず以下のような活動している人をカウントします。
- ・ただし、車庫、風除室、ベランダは屋外に含みます。

#### <沿道活動の例>

立ち話、庭いじり、遊び、仕事（配達など）、掃除、洗濯、車の手入れ、みまもり活動、雪かき（雪囲い）



赤丸内の方は沿道活動者としてカウントします。



近文地区では、沿道活動の範囲を下記のような理由から 12m としました。

- ・道路に面する宅地 1 軒分の奥行き = 12m 程度
- ・学術的に表情がわかるとされる距離 = 12m

調査員には、生活道路の幅の 2 倍程度ということで判断してもらいました。

地域の実情に応じて、10～15m 程度で感覚的にわかりやすい距離を設定すると良いでしょう。



近文地区では、積雪期の調査も実施したことから、雪かきも例示しました。

地域の実情に応じて例示すると良いでしょう。

■集中調査 調査票

沿道活動等の詳しい内容がわかると、みまもりを増やすための具体的な対策がたてやすくなります。地域の状況に応じて設定しましょう。

集中型みまもり量調査(集中調査)  
[ルート2 はるかぜ公園付近]  
コースA  
11/4 15:00~15:15(3回目)  
記入者名:



実際には曲がり角がわかるように現地の写真を入れています。

属性は、主観で判断してもらいました。

歩行者		自転車	
あい運動参加者			
小学生			
中学生			
高齢者			
未就学児連れの人			
その他一般			

台数	
台数	
台数	
沿道活動者	
沿道活動者	
見守り	
立ち話	
庭いじり	
遊び	
仕事、配達など仕事	
雲畑い	
洗濯・車の手入れ	
洗濯	
掃除	
その他	

歩行者		自転車	
あい運動参加者			
小学生			
中学生			
高齢者			
未就学児連れの人			
その他一般			

自転車	
台数	

バイク	
台数	

沿道活動者	
沿道活動者	
見守り	
立ち話	
庭いじり	
遊び	
仕事、配達など仕事	
雲畑い	
洗濯・車の手入れ	
洗濯	
掃除	
その他	

歩行者		自転車	
あい運動参加者			
小学生			
中学生			
高齢者			
未就学児連れの人			
その他一般			

自転車	
台数	

バイク	
台数	

沿道活動者	
沿道活動者	
見守り	
立ち話	
庭いじり	
遊び	
仕事、配達など仕事	
雲畑い	
洗濯・車の手入れ	
洗濯	
掃除	
その他	

歩行者		自転車	
あい運動参加者			
小学生			
中学生			
高齢者			
未就学児連れの人			
その他一般			

自転車	
台数	

バイク	
台数	

沿道活動者	
沿道活動者	
見守り	
立ち話	
庭いじり	
遊び	
仕事、配達など仕事	
雲畑い	
洗濯・車の手入れ	
洗濯	
掃除	
その他	

各列の凡例は以下の通り。  
「あ」：あい運動（みまもり活動）、「小」：小学生、  
「中」：中学生、「老」：高齢者、  
「み」：未就学児連れの人、「一」：一般（その他）



## 5. 調査にあたっての注意点

調査員には注意点として下記の内容を伝えました。



近文地区では、団体で入る民間のボランティア保険に加入しました。町内会活動を対象とした保険を活用する方法もあります。(p22 参照)。



調査員をカウントしないよう、近文地区の調査員には、腕に識別用のバンダナをつけてもらいました。

### (1) 一般的な注意事項

- 服装は、動きやすいものとして下さい。雨具（調査の支障とならないようレインコートが望ましい）は各自持参して下さい。また、晴天の際には、帽子や水等を所持し、熱中症対策を必ず行ってください。
- 集合等は時間厳守をお願いします。万一遅れる場合は速やかに下記の緊急連絡先に連絡して下さい。

### (2) 調査上の注意事項

- 調査は腕章などを着用して実施して下さい。
- 調査中は事故の無いように周囲の交通状況に十分注意して下さい。
- 調査中に住民などから挨拶された場合は挨拶を返して下さい。
- 調査内容について問われた場合は、事前に配布する調査協力の依頼文を渡すか、下記の緊急連絡先に連絡して下さい。

### (3) 緊急連絡先など

当日の緊急連絡先：

- 携帯            -            -
- 携帯            -            -

調査時の待機場所：



# 松山市久米地区 車の通り抜け調査の手引き



1. 車の通り抜け調査の目的…………… 32
2. 調査の内容…………… 33
3. 調査の準備…………… 35
4. 調査スケジュール…………… 37
5. 調査の実施方法…………… 38
6. 調査にあたっての注意点…………… 40

## 1. 車の通り抜け調査の目的



地域に用のない通り抜けを目的とした車が入ってくると、騒音や振動などによる生活環境の悪化や交通安全上の問題を引き起こす可能性があります。

このような車の存在は、みまもり量を増大させ、地域の安全に貢献するという側面も持っていますが、同時に、地域内に普段は見かけない車両や人がいることが常態化するため、ひったくり、痴漢や誘拐などを企てる者も近づきやすくなる恐れがあります。

通り抜けの車は少ないに越したことはありません。そのための方策を検討することは、安全・安心な地域をつくる上で重要な課題だと考えられます。

ただし、地区の中を走っている車の多くは、その地区の居住者の車であったり、その地区に何らかの用がある人の車であったりします。

地区に用のある車と用のない車(通り抜け)とを区別し、現在の地域の問題点を明らかにする必要があります。

本調査は地域を通り抜けている車がどれだけいるのかを把握し、対策の検討に役立てるために実施するものです。

## 2. 調査の内容



### (1) 調査の内容

この調査は、地域に入る車と出て行く車のナンバープレートと出入り時の時刻を記録することから「ナンバープレート調査」とも呼ばれます。

ナンバープレートは下の図のように最後の4桁の数字(下図の〇〇-〇〇)のみを記録します。



調査を行うにあたって、事前に道路の幅員や交通規制、道路管理者(道路ごとに国・県・市町村のどれか)を調べておくと、問題・課題の整理、解決に役立ちます。

### (2) 調査地域

対象地域は、通り抜けをされたくない地域として、安全・安心まちづくりを検討している地域、小学校校区などを対象にします。

### (3) 調査の実施日時

久米地区では、小学生の通学時の登校・下校時における車の通り抜けの発生を調査するため、以下の時間としました。

7月14日(火) 午前7時～午前8時05分  
午後3時30分～午後4時35分

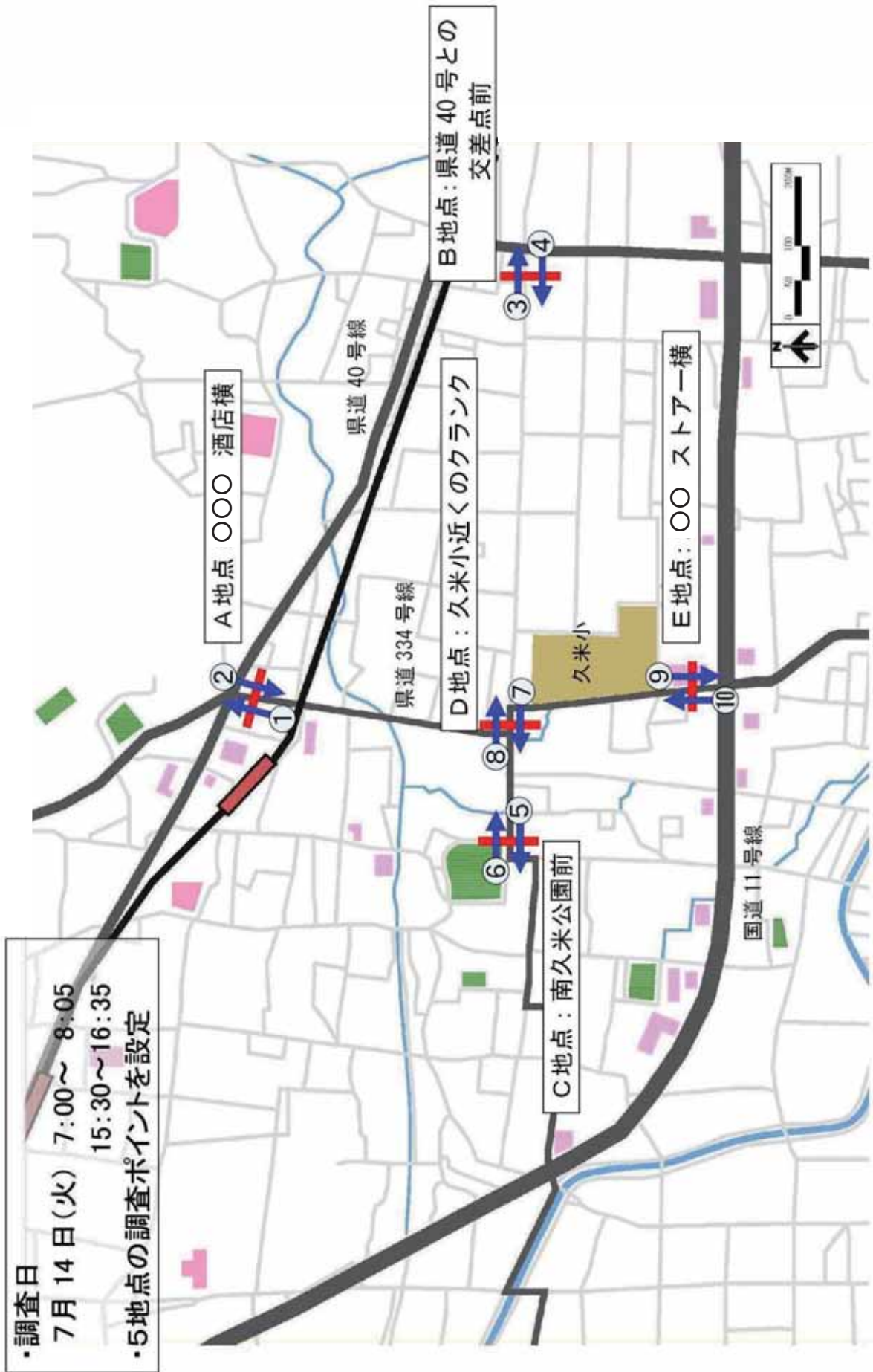
調査時期は、車の交通量が増える休日や年末年始、学校の休みの時期、雨天など避けて行ってください。また、調査員の負担を軽減するためなるべく夏季・冬季は避けましょう。

### (4) 調査員・協力者

- ・久米地区のみなさん
- ・久米小学校
- ・久米小PTAのみなさん
- ・防犯ボランティアのみなさん
- ・まちづくりの専門家

地区に入った車が5分間で地区外に流出すれば「通り抜けの車」と判断するため、流出側の調査終了時刻を5分遅らせています。

■調査地点位置図（例）





### 3. 調査の準備

#### (1) 調査人員

1つの調査地点に2人（各方向1人）の調査員を配置します。  
久米地区では5地点×2人＝10人で調査を行いました。

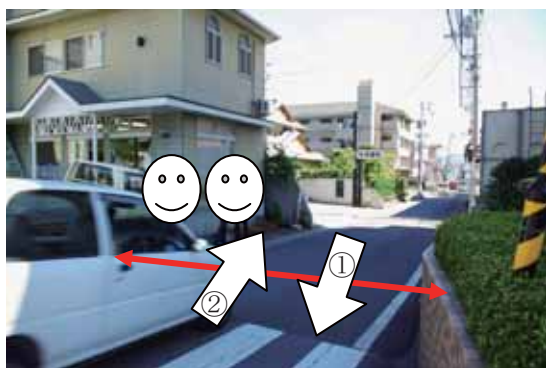


交代に配慮し、1つの調査地点に2～3人の調査員を配置するとよいでしょう。  
混雑が予想される場所については、別に調査員を配置して、交差点の滞留（信号待ち）台数などを把握しておくこと、通過交通の発生源や原因を分析するのに役立ちます。  
また、緊急時の交代や調査道具の追加などの対応も考慮し、調査本部で待機する人、自転車で調査を見回る人などの要員も配置できるとよいでしょう。



：調査員の配置

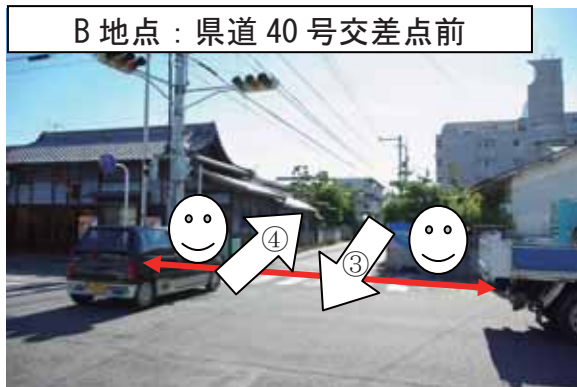
A 地点：〇〇酒店横



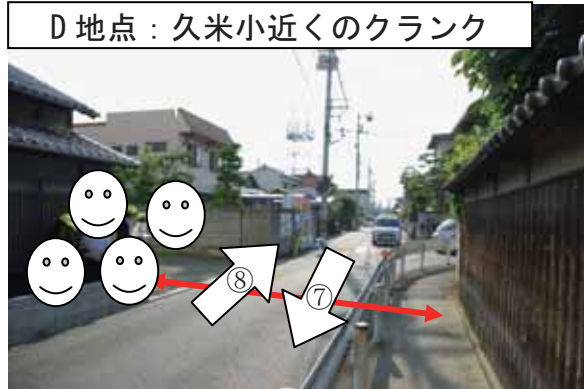
■調査人員配置表（例） ①～⑩：調査の方向、調査員名

	7:00～8:05	15:30～16:35
A 地点	①：〇〇さん・〇〇さん ②：〇〇さん・〇〇さん	①：〇〇さん・〇〇さん ②：〇〇さん・〇〇さん
B 地点：	③： ④：	③： ④：
C 地点 南久米公園前	⑤： ⑥：	⑤： ⑥：
D 地点	⑦： ⑧：	⑦： ⑧：
E 地点	⑨： ⑩：	⑨： ⑩：

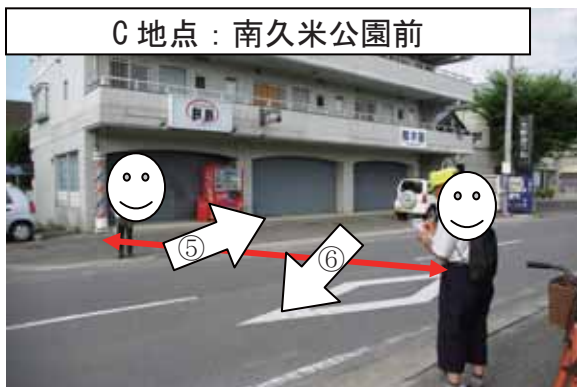
B 地点：県道 40 号交差点前



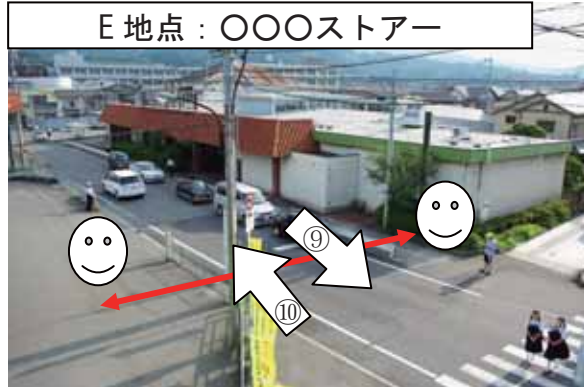
D 地点：久米小近くのクランク



C 地点：南久米公園前



E 地点：〇〇〇ストアー



## (2) 調査道具

久米地区では下記の道具を用意しました。

備品・機器	数量 (+予備)
調査地点図	10
記録用紙	十分数
クリップボードまたは画版 (A4サイズ)	10
色つきガムテープ	1
ボールペン	10 (+5)
ボイスレコーダー	10
腕時計	各自
折りたたみ椅子	5～10
防犯タスキ・腕章・名札	各 10
デジタルカメラ	2

\*水筒やタオル、帽子などは、各自の判断で用意します。

雨天でも調査を実施しますので、天候によっては雨具を用意します。

眼鏡・コンタクトレンズを使用している方は忘れないようにして下さい。



スピードガン…通り抜けの車は、交通量が多いことも問題ですが、その走行速度が速い場合、さらに問題の深刻さが増すこととなります。通り抜け車が多い路線で実際の走行速度を測ってみるのも良い取り組みです。



手軽な測り方としては、スピードガンの利用が挙げられます。スピードガンは、スポーツ店などで販売しているものでも結構ですし、大学の研究室等で借りられることもあります。ドライバーとのトラブルを避けるために速度調査を実施することを地元警察署に連絡しておきましょう。

## (3) 警察・自治会等への調査実施の周知、調査地点周辺への協力依頼

歩道などの公道上で調査を行うには、警察（公安委員会）の「道路使用許可」が必要です。それに加え、道路管理者の「道路占用許可」が必要な場合があります。

調査を行うにあたって、事前に地元警察署や道路管理者、自治会等へ調査の内容等を事前に説明しておきましょう。

公道以外に他の人の土地を利用する場合は、事前に調査の協力をお願いしておきましょう。




#### 4. 調査スケジュール（久米地区の例）

日時	内容	
7月13日（火）		
15：00 16：30 ～17：30	調査地の確認 〇〇〇に集合 ・ 事前に調査内容と方法の説明	
7月14日（水）		
チームA	06：30	久米小学校の校門に集合 ・ 調査道具の確認 ・ 調査内容の確認 ・ 各自の腕時計の時刻合わせ
	06：40	調査地点に移動
	06：55	調査方法の確認、練習
	07：00	調査開始
	08：05	調査終了
	08：15	久米小学校の校門に集合 ・ 調査票の回収 ・ 調査の感想、意見等の聴取（グループインタビュー等）
	08：45	解散
チームB	14：40	久米小学校の校門に集合 ・ 調査道具の確認 ・ 調査内容の確認 ・ 各自の腕時計の時刻合わせ
	15：10	調査地点に移動
	15：25	調査方法の確認・試験作業
	15：30	調査開始
	16：35	調査終了
	16：45	久米小学校の校門に集合 ・ 調査票の回収 ・ 調査の感想、意見等の聴取（グループインタビュー等）
	17：15	解散

## 5. 調査の実施方法

- ① 担当地点まで移動したら、自分の担当の方向を確認する。  
 [注意] 立ち位置について確認する。  
 調査開始時刻の前に、記録用紙の地点番号、日付を確認し、記録者の名前を記入する。交通量が多い場合、必要に応じてボイスレコーダーで記録する。
- ② 調査開始時刻から記録を開始する。
- ③ 地区内に入る車（または出て行く車）が近づいてきたら、まず時刻を記入する（表を参照）。交通量が多くて記入できない場合は無記入でよい。  
※連続して車が来た場合は、2台目以降の時刻欄は無記入でよい。
- ④ 下図のナンバープレートの見方を参考に、担当する方向の自動車類（二輪車を除く）の車番号を記入する（判読できなかった場合でも通過台数は確認できるよう、行に横線を引く。ボイスレコーダーの場合は「不明」と吹き込む）。
- ⑤ 調査終了まで、③、④の作業を繰り返す。
- ⑥ 調査終了時刻になり次第終了。片付けを行い、集合場所に戻る。

 なお、特定の車種（大型車など）が問題になっていれば、別途、種別欄を設けチェックします。調査結果をもとに相手方に対して注意を促すことができます。

### ■ナンバープレートの見方

愛媛 5 7  
 さ 1 1 - 2 2

左図のナンバープレートの場合、下表の1の欄のように  
 （4桁のナンバー）を記入します。

### ■調査票記入例

	通過時刻		車番号				備考
	時	分					
1	7	0	1	1	2	2	
2	7	2	—————				
3	7	3	1	1	4	5	

判読できなかった場合は横線を引く

■調査票

調査票 枚目

調査地点	車の方向	調査時刻
_____ 地点 ※A～Eの記号を入れる	※①～⑩の番号を入れる	: ~ :
		記録者
		.

	通過時刻		車番号				備考
	時	分					
1							
2							
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
16							
17							
18							
19							
20							
21							
22							
23							
24							
25							

	通過時刻		車番号				備考
	時	分					
1							
2							
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
16							
17							
18							
19							
20							
21							
22							
23							
24							
25							

## 6. 調査にあたっての注意点


調査員には注意点として以下の内容を伝えました。

### (1) 一般的な注意事項

- 服装は、動きやすいものとして下さい。雨具（調査の支障とならないようレインコートが望ましい）は各自持参して下さい。
- 集合等は時間厳守でお願いします。万一遅れる場合は速やかに下記の緊急連絡先に連絡して下さい。

### (2) 調査上の注意事項

- 調査は地元の防犯パトロール用帽子や腕章などを着用して実施して下さい。
- 調査中は事故の無いように周囲の交通状況に十分注意して下さい。
- 調査中に住民などから挨拶された場合は挨拶を返して下さい。
- 調査内容について問われた場合は、事前に配布する調査協力の依頼文を渡すか、下記の緊急連絡先に連絡して下さい。



万が一に備えて、  
保険に加入して  
おきましょう。

### (3) 緊急連絡先など

当日の緊急連絡先：

〇〇携帯	—	—
〇〇携帯	—	—

調査時の待機場所：

### <通り抜け調査の協力のお願い>

本調査は、騒音や振動などによる生活環境の悪化や交通安全上の問題、防犯上の問題を引き起こす可能性のある通過交通がどれだけいるのか、どこからどこへ通り抜けているのかを調べるものです。

地域の方々に現地調査に参加していただき、より効果的な「車の通り抜け調査」を実施していきたいと考えています。

皆さまのご理解とご協力のほど、よろしくお願い致します。

#### ■調査日・調査時間

7月14日（火） 午前7時～午前8時05分  
午後3時30分～午後4時35分

#### ■調査地点

久米小学校校区を対象にします。調査地点は右図の5つの地点（A～E）です。



#### ■調査員・協力者

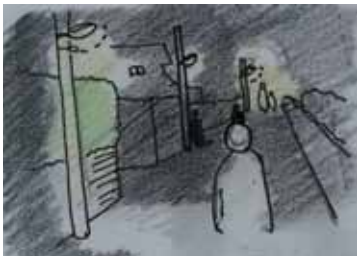
- ・久米小学校
- ・久米小PTAのみなさん
- ・防犯ボランティアのみなさん
- ・まちづくりの専門家



# 旭川市近文地区 くらがり調査の手引き



1. くらがり調査の目的…………… 44
2. 調査の内容…………… 45
3. 調査の準備…………… 48
4. 調査スケジュール…………… 49
5. 調査の実施方法…………… 50
6. 調査にあたっての注意点…………… 55



## 1. くらがり調査の目的



### 背景、現状・問題認識

夜間のくらがりとは、不安感を引き起こすだけでなく、ひったくりやチカン等の犯罪を招く恐れがあります。

くらがりができる理由は、照度の不足やムラ、汚れや故障など街灯の管理の問題、街路樹等の障害物の影響等があります。

空き家・空き地など低未利用地によるくらがりの増大、ライフスタイルの多様化に伴う夜間における外出機会の増加等への対応として、まちの明るさの確保が重要になっています。

### 意義、必要性

くらがりの解消は、人の目による監視性を高め、犯行抑止や夜間における地域社会の活動や暮らしを安全・安心にするために重要です。特に、北海道では冬季の日の入り時刻が早いことから、子どもの下校時の不安感や犯罪を防止する必要性も高いと考えられます。

一方で、まちを明るくする際には光害、環境問題、景観等への影響を考慮する必要があります。また、街灯の増設は費用的に限界があることから、住宅の門灯や商業施設、公共公益施設等の明るさを活用していくことも大事です。

くらがり解消のため、地域の実情にあわせて必要な明るさを総合的・計画的に確保していく必要があります。

### 目的

「近文あい運動」では、小学生の下校時に、地域住民によるみまもり活動を継続的に実施しています。「近文あい運動」の展開方針として、子どもだけではなく、全ての地域住民の安全・安心を実現することが謳われています。

そこで、小学生低学年を中心としたみまもり活動から、塾通いが増える小学生高学年や中高生、大学生、OLなどの夜間の防犯安全性を高めるために、くらがりの実態を把握し、効果的・効率的な対策のための検討材料とします。



## 2. 調査の内容

### 調査手法

近文地区では、以下の2つの調査を行いました。

#### A アンケートによるくらがり調査

地図を使ったアンケートにより、暗いと感じる場所や暗くて犯罪の不安を感じる場所がどこかを調べます。

近文地区では、8月20日～9月1日に「近文あい運動」参加者約300人を対象に実施し、215票（回収率約72%）を回収しています。

#### B 照度調査

照度計を使って照度（水平面照度と鉛直面照度）を計測するとともに、街灯調査（位置・管理番号、明るさ阻害要因）を行います。

## A アンケートによるくらがり調査

近文地区では、近文あい運動「緊急」子供を守るための住民懇談会&ネットワーク会議の300人を対象に下記のアンケートを実施しました。

<p style="text-align: center;"><b>「くらがり」についてのアンケートのお願い</b></p> <p>いつも「近文あい運動」の見守り活動に御参加いただきありがとうございます。おかげさまで、近文地区での小学生の危険運動割合や危険場所が大幅に減少しています。さて、これから冬に向けて日がどんどん短くなってくると、小学生が昼や少年団から帰宅する線や中高生などの下校時も遅くなります。暗がりや、不安感を引き起こすだけでなく、ひったくりやチャカン等の犯罪被害を招く恐れがあります。</p> <p>そこで、近文地区内の暗がりについてアンケート調査を行うことにしました。このアンケートに加え、9月には美濃の明るさを計測する調査を合わせて行います。これらの調査結果は、地区内の暗がりや危険な場所が把握でき、危険場所を回避したり、街灯整備などに活用することができます。</p> <p>ぜひ、このアンケート調査にご協力ください</p> <p>■回収期限：平成21年9月1日(火) ■回収方法：町内会長さんに提出してください</p>	<p style="text-align: center;"><b>「緊急」子どもを守るための住民懇談会&amp;ネットワーク会議</b></p> <p>質問7 あなたが「近文あい運動」に参加していて、感じていることを記入してください。</p> <p>①活動についての不満、不安、問題・課題などがあれば、ご記入ください。</p> <div style="border: 1px solid black; height: 40px; width: 100%;"></div> <p>②活動に参加して良かったことや地域がよくなったことがあれば、ご記入ください。</p> <div style="border: 1px solid black; height: 40px; width: 100%;"></div> <p>③「近文あい運動」に今後も参加したいですか？ 次の選択肢から選び、○を付けてください。</p> <p>ア、参加したい イ、参加したくない ウ、どちらともいえない</p> <p>エ、その他</p> <p>質問8 あなたのお住まいの町名に○を付け、丁目を記入してください</p> <p>ア、緑町 イ、緑町 ウ、近文町 エ、川端町6条 オ、川端町7条</p> <p>カ、旭町 キ、その他( )</p> <p style="text-align: center;">丁目</p> <p>質問9 最後にあなたの年齢と性別を選んで○を付けてください</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">年齢</td> <td style="width: 20%;">ア、20代</td> <td style="width: 15%;">イ、30代</td> <td style="width: 15%;">ウ、40代</td> <td style="width: 15%;">エ、50代</td> <td style="width: 15%;">オ、60代</td> <td style="width: 15%;">カ、70代以上</td> </tr> <tr> <td>性別</td> <td colspan="2">ア、男性</td> <td colspan="4">イ、女性</td> </tr> </table> <p style="text-align: right;">ご協力ありがとうございます。</p>	年齢	ア、20代	イ、30代	ウ、40代	エ、50代	オ、60代	カ、70代以上	性別	ア、男性		イ、女性																									
年齢	ア、20代	イ、30代	ウ、40代	エ、50代	オ、60代	カ、70代以上																															
性別	ア、男性		イ、女性																																		
<p>質問1 近文地区に、くらがりによりチャカン・ひったくりなどの犯罪を感じた経験がありますか？</p> <p>該当するもの、○(内)を記入してください。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 33%;">ア、ある</td> <td style="width: 33%;"></td> <td style="width: 33%;"></td> </tr> <tr> <td>イ、ない</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>質問2 質問1で「ある」と答えた方にお尋ねします。くらがりによりチャカン・ひったくりなどの犯罪にあらう危険を感じる道路はどこですか？ 別紙の地図上の該当する道路に○(内)を付けてください。その道路番号を下欄にすべてご記入ください。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 33%;"></td> <td style="width: 33%;"></td> <td style="width: 33%;"></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>質問3 質問2でくらがりにより危険を感じる道路のうち、特に改善が必要だと思っ道路はどこですか？ 3つまで選んで、その道路番号を下欄にご記入ください。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 33%;"></td> <td style="width: 33%;"></td> <td style="width: 33%;"></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>質問4 その他、近文地区内のくらがりについて気になる点などがあれば、ご記入ください。</p> <div style="border: 1px solid black; height: 40px; width: 100%;"></div>	ア、ある			イ、ない																		<p>質問5 あなたが「近文あい運動」で見守りをしている場所を、別紙の地図上の該当する場所に◎(2重丸)を付けた上で、その道路番号を下欄にご記入ください。なお、子どもと一緒に移動する場合は、移動の終点の場所に●(黒丸)を付け、◎と●を結んでください。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 33%;"></td> <td style="width: 33%;"></td> <td style="width: 33%;"></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>質問6 あなたが「近文あい運動」で見守りしている回数は、どのくらいですか？ 1週間の日数、または、1カ月、1年間の「いずれかを選んで○(内)を付けてください」</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 33%;">ア、1週間に</td> <td style="width: 33%;">日くらい</td> <td style="width: 33%;"></td> </tr> <tr> <td>イ、1カ月に</td> <td>日くらい</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ウ、1年間に</td> <td>日くらい</td> <td></td> </tr> </table>							ア、1週間に	日くらい		イ、1カ月に	日くらい		ウ、1年間に	日くらい	
ア、ある																																					
イ、ない																																					
ア、1週間に	日くらい																																				
イ、1カ月に	日くらい																																				
ウ、1年間に	日くらい																																				

## B 照度調査



校区全体を調査すると、多数の方の協力と多大な時間が必要になります。そこで、アンケート調査で夜間に不安を感じると指摘の多かった道路や、旧市街地や新興住宅地、住工混在地域といった地域特性を踏まえて、調査対象を絞る方法もあります。

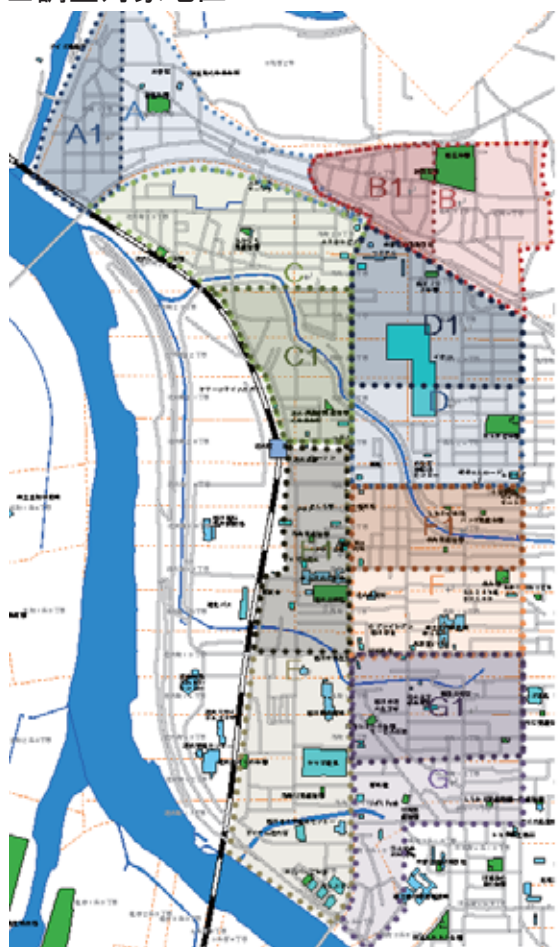
### (1) 調査範囲

近文小学校校区全体を A～G の 7 地区に分けて、各地区の半分程度を調査対象としました。

#### ■ 調査地点数

エリア名	A1	B1	C1	D1	E1	F1	G1	計
地点数	82	64	58	91	65	94	112	573

#### ■ 調査対象地区



月あかりの影響が大きい日は避けましょう(新月が理想的です)。

### (2) 調査日時

2009年9月17日(木) 18:30～21:30  
2009年9月18日(金) 18:30～21:30  
2009年10月26日(月) 18:30～21:30  
※雨天の場合は中止

### 3. 調査の準備

#### (1) 調査員・協力者

1チームは、①照度を計測する計測係、②記録用紙に計測結果を記録する記録係、③街灯管理番号を確認する台帳係の3人編成+トイレ等の交代要員となる補助1人とします。



近文地区では、水平面照度と鉛直面照度（最大4方向）を調査するのに、1チーム・60～100地点で2時間程度かかりました。  
調査の内容や範囲に応じて、調査参加者を募りましょう。

#### ■分担表 9月17日（木）

チーム	①計測係	②記録係	③台帳係	④補助
A				
B				
C				
D				
E				
F				
G				

#### ■分担表 9月18日（金）

チーム	①計測係	②記録係	③台帳係	④補助
A				
B				
C				
D				
E				
F				
G				



11月調査では2日間で7地区・573地点を延27人で調査しました。

#### ●調査参加者

- ・小学校PTA（お父さん）、教員
- ・大学生ボランティア
- ・まちづくりの専門家（地元の研究所等）



自治会や地域のまちづくりNPO、警察の方にも協力をお願いしてみましょう。

## (2) 調査道具

各チームに下記の道具を用意しました。

近文あい運動の腕章	人数分	
デジタル照度計	1台	
計測棒(次頁参照)	1台	
予備電池	数個	照度計、懐中電灯用
懐中電灯	2個	照度計測用と街灯調査用
くらがり照度調査用紙(マップ)	1部	
街灯調査用紙(マップ)	1部	
調査エリアマップ	1部	
クリップボード, ボールペン	2枚, 2本	照度計測用と街灯調査用



夏季の場合は、水筒やタオル、虫除け、冬季の場合は、防寒対策など各自の判断で用意するように知らせておきましょう。

また、眼鏡・コンタクトレンズを使用している方は忘れないように知らせておきましょう。

## 4. 調査スケジュール



照度の補正を行うため、調査の前後に、周囲の明るさの影響を受けにくい小学校のグラウンドの定点で照度計測を行いました。

18:30	近文小学校ランチルームに集合
18:30~18:50	調査内容の説明
19:00~21:00	チームに分かれて照度測定調査実施
調査終了次第	近文小学校ランチルームに集合
10分程度	調査結果まとめ



2月調査では、日没にあわせて、調査開始時刻を30分早めました。



調査内容の説明会

## 5. 調査の実施方法

### (1) 調査内容

#### ①照度

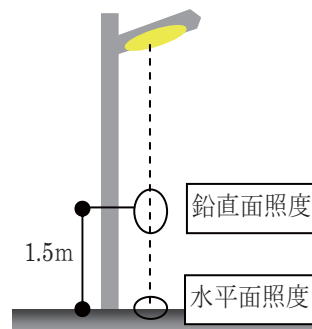
水平面照度（路面から高さ 10cm）と鉛直面照度（路面から高さ 150cm＝大人の目の高さ）を計測します。

#### ②明るさに影響を与えるものの有無

樹木の影やグローブの汚れなど街灯が本来の明るさを発揮できていない要因の有無も調べます。

#### ③街灯の管理番号

街灯の改善等につなげていく際に必要となる街灯の管理台帳を作成するため、街灯の位置と管理番号を調べます。



管理番号の確認

👉 夜間は街灯の管理番号が見えにくいことから、昼間に別途調査を実施してもよいでしょう。

### (2) 照度の計測方法

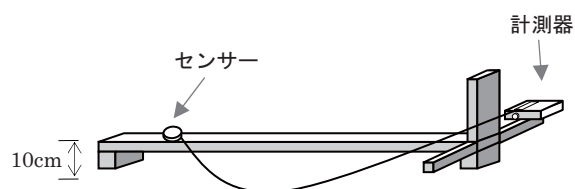
#### 1) 水平面照度

路面から 10cm の高さで水平面照度を計測します。

①計測棒を寝かし、照度計のセンサーに影をつくらないようにします。

②計測係が照度計の測定値を固定するホールドボタンを押し、数値を読み上げ、記録係が記入します。

#### ■水平面照度の測り方



👉 簡易に計測できるような計測棒を作製しました。





## 2) 鉛直面照度(道路のある各方向)

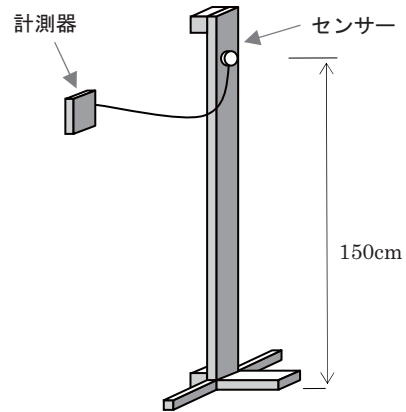
地面から 150cm の高さで鉛直面照度を計測します。

- ①計測棒を立てて、照度計のセンサーに影をつくらないようにします。
- ②計測係が照度計の測定値を固定するホールドボタンを押し、数値を読み上げ、記録係が記入します。

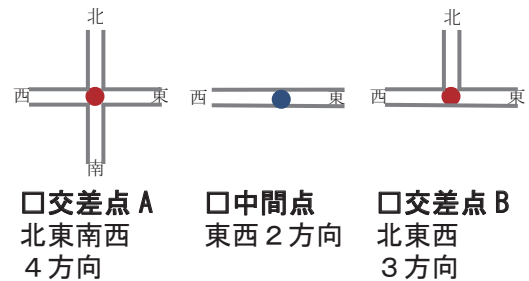
※照度計の受光部に自分の影や懐中電灯、自動車のライトが入らないように注意してください。

※道路の接続により、鉛直面照度を計測する向きが異なります(右図参照)。

### ■鉛直面照度の測り方



### ■鉛直面照度を計測する向きの例

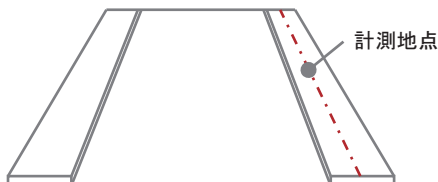


## 3) 照度計測地点(次頁記録用紙参照)

- ・各チームに割り当てられたルート上の調査地点について測定します。
- ・調査地点は、①交差点と②交差点の中間点の2種類があります。中間点の位置は目視により判断してください。交差点間の距離が大きい場合は複数点としています。
- ・歩道の有無により計測位置を判断します(下図参照)。

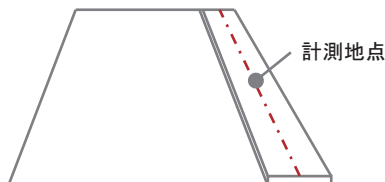
### ■歩道が両側にある場合

- ・明るい方の歩道の中心



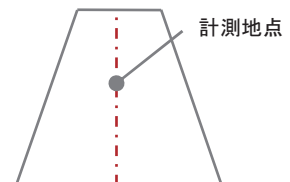
### ■歩道が片側にある場合

- ・歩道の中心



### ■歩道が無い場合

- ・道路の中心

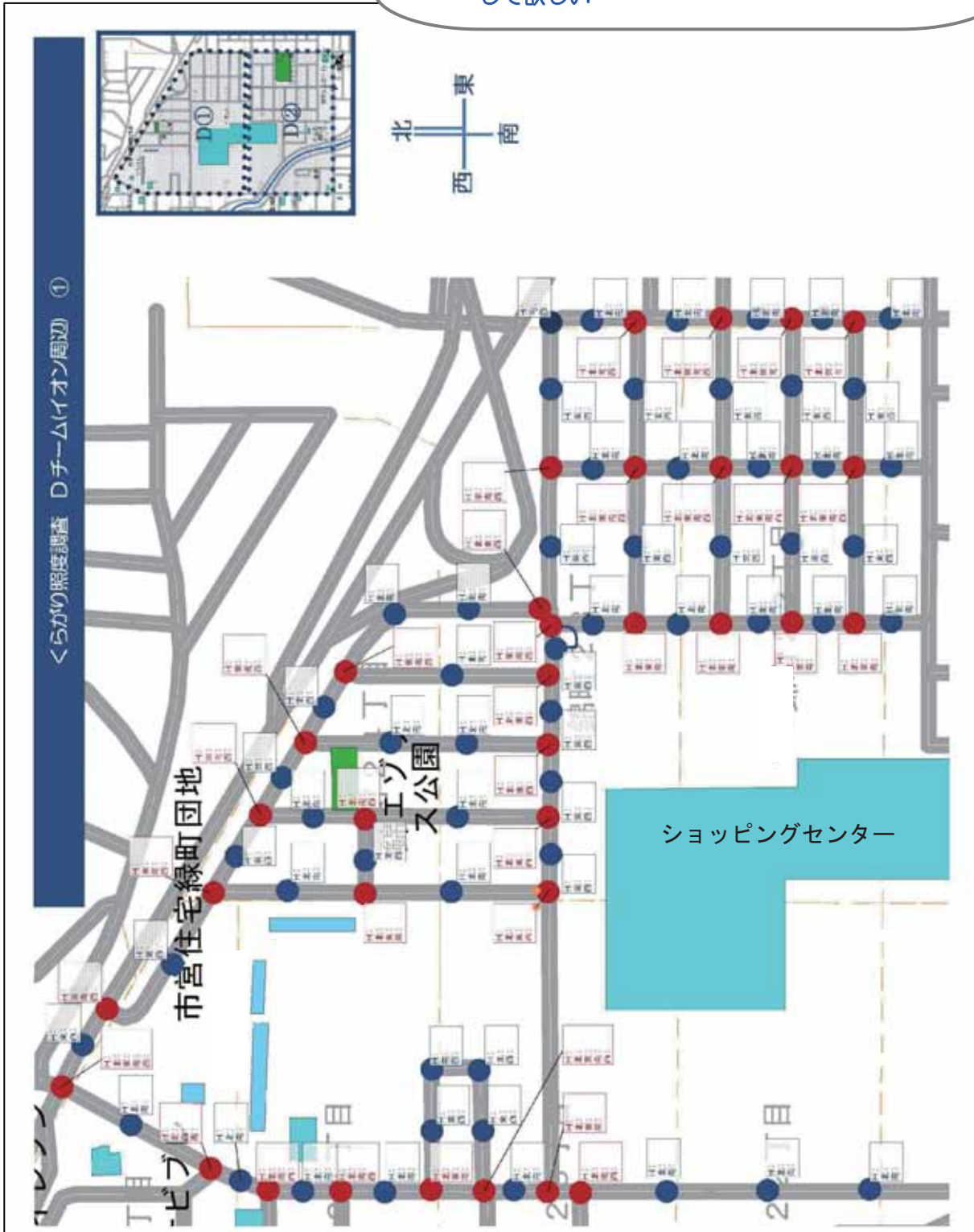


■照度調査 記録用紙



近文地区における調査員からの改善要望事項

- ・地図に建物を入れるなどわかりやすくしてほしい
- ・地図にない道路があったので最新の地図を使用してほしい
- ・迷わず歩けるために、地図上に廻るルートを指定してほしい





### (3) 街灯調査

調査区域内の街灯の管理番号を地図上に記録するとともに、明るさに影響を与える樹木やグローブの汚れなどをメモします。

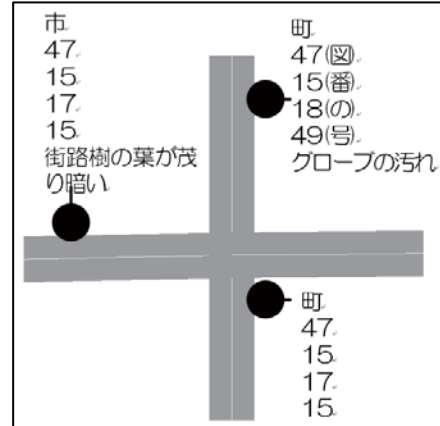
#### 1) 調査項目と記入方法

下記の内容についてマップ上に記入します(右図 マップへの記入例参照)。

##### ①街灯位置

街灯の設置場所をマップ上に●(黒丸)で記入してください(道路のどちら側かもわかるように)。

#### ■マップへの記入例



##### ②管理主体

管理主体は市と町内会があります。

アームの長いものが市で、それ以外は町内会です(右写真参照)。

市のものは「市」、町会のものは「町」と記入してください。

#### ■管理主体の異なる街灯の区別の仕方

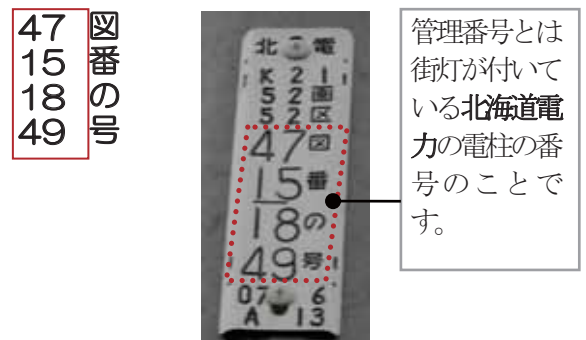
町内会の場合	市の場合
「町」と記入	「市」と記入

##### ③管理番号

街灯は、電力会社の電柱管理番号(白いプレート)で管理されています。

赤枠部分の2桁4行の番号を記入してください。

#### ■管理番号の見方



##### ④明るさに悪影響を与えている事象

街灯があるにもかかわらず、くらがりが生じている場合、その原因を記入してください。

- [例]・樹木の葉が生い茂っている
- ・グローブが汚れている

#### ■グローブの汚れ

比較的明るい街灯	グローブの汚れが目立つ暗い街灯

資料：芝浦工業大学三浦研究室

■街灯調査 記録用紙

街灯調査 Dチーム(イオン周辺) ①

記入例

1. 管理主体

- 市の施設 (市)と記入
- 市の施設 (町)と記入

2. 管理番号

- 管理番号なし (原則)の2桁4行

3. 明かりに異形番号を与えている事象

- ・樹木の影が生い茂っている
- ・グローブの影(など)

## 6. 調査にあたっての注意点

調査員には注意点として下記の内容を伝えました。

- 「近文あい運動」の腕章を必ず付けてください。警察には、事前に本調査の実施について連絡済みです。
- 自動車には十分気をつけてください。安全が確保できていない場合は計測をしなくてもかまいません。
- 歩行者などの通行の妨げにならないようにしてください。

※調査中に判断に困ったこと等がある場合は、下記まで連絡してください。

緊急連絡先：090－                    －

※調査終了後は近文小学校のランチルームに戻ってください。



近文地区では、団体で入る民間のボランティア保険に加入しました。町内会活動を対象とした保険を活用する方法もあります（p.22 参照）。



# 松山市久米地区 身近な公園調査の手引き



1. 身近な公園調査の目的…………… 58
2. 調査の内容…………… 59
3. 調査の準備…………… 61
4. 調査スケジュール…………… 62
5. 調査の実施方法…………… 63
6. 調査にあたっての注意点…………… 72

## 1. 身近な公園調査の目的



私たちの生活に身近な公園は、生活にうるおいをもたらしてくれる大切な存在です。しかし、公園によっては、管理が不十分でゴミが散らかっていたり、植栽が必要以上に繁っていたり、住民にほとんど利用されていなかったりする場合があります。

こうした公園は、住民にとって不安な場所になります。不安な場所となった公園は、いっそう住民から避けられてしまい、結果的に、人目のない、犯罪に対して危険な場所になる可能性があります。



身近な公園は、私たちの生活に最も近い公共空間でもあります。公共空間に対しては、様々な考え方を持った人がいるため、必ずしも防犯の視点だけからその改善方策を定めることはできません。その意味で、身近な公園調査は、広い視点から公共空間の改善の方向性を考えるという「まちづくり」につながるきっかけになるでしょう。



本調査は身近な公園を対象に、公園に対する意識調査、防犯診断、使われ方調査などを行い、対策の検討に役立てるために実施するものです。

## 2. 調査の内容



### (1) 調査の内容

身近な公園調査として3つの調査を行います。

#### ア 公園に対する意識調査

公園の近隣に住む人、公園の管理に携わる人、公園の近くを通る人など、公園に関わる様々な住民に、公園に対する意識や意向を尋ねます(久米地区では福音小学校の全児童の保護者を対象としました)。

#### イ 公園および周辺の防犯診断

調査グループを作って、実際に公園を歩きながら防犯上の問題や良い点を調べます。

#### ウ 公園の使われ方調査

一日のうち、いつ、どのような利用者が、どのような目的で公園を訪れているのかを観察によって把握します。可能であれば利用者へのインタビューを行います(久米地区では利用者や管理者などにインタビューを行いました)。



愛着・親しみのある公園にするため、基礎的情報として、地域の歴史や公園の名前の由来を調べることも大切です。

### (2) 調査対象公園

調査対象は、みなさんが利用する身近な公園5カ所(①小坂公園、②福音公園、③星岡公園、④八区公園、⑤汽車ぽっぽ公園)です(詳細は次頁参照)。

### (3) 調査の実施日時

久米地区では以下の日時に「イ」「ウ」の調査を行いました。

2009年7月23日(木) 午前9時～12時

### (4) 調査員・協力者

- ・地域にお住まいの皆さん(管理に携わる人など)
- ・福音小のみなさん(児童、PTA、教員)
- ・防犯ボランティアのみなさん
- ・まちづくりの専門家



## ■調査対象公園

・調査日  
7月23日(木) 9:00～12:00  
5カ所の公園調査を設定



### 3. 調査の準備

#### (1) 調査人員

○親子 10 組、20 人を募集しました。

■調査人員配置表

	調査員名	
チームA	—1	・
	—2	・
	—3	・
	—4	・
チームB	—1	・
	—2	・
	—3	・
チームC	—1	・
	—2	・
	—3	・

#### (2) 調査道具

久米地区では下記の道具を用意しました。

備品・機器	数量
調査対象公園図面	10
記録用紙	10+予備
画版 (A2サイズ)	10
クリップ	30
ボールペン	20+予備
太めのマジックペン	数本
付箋	数束
デジタルカメラ	3
パソコン (写真を見せるため)	1
プロジェクタ	1
防犯タスキ・腕章・名札	各 20



公園の形状がわかる大きさの地図を利用します (p.70 参照)。可能であれば地元自治体に公園の図面を提供してもらいましょう。

\*水筒やタオル、帽子などは、各自の判断で用意します。

雨天でも調査を実施しますので、天候によっては雨具を用意します。

眼鏡・コンタクトレンズを使用している方は忘れないようにして下さい。

#### 4. 調査スケジュール（久米地区の例）



小さな公園でも調査には 15 分程度かかります。公園の大きさや予定に合わせて無理なく設定しましょう。



可能であれば、調査の前に専門家などの協力を得て調査方法などを講義してもらうとよいでしょう。



7月23日（木）			
	08:50	福音小学校に集合	
	09:00	調査内容の説明 ・調査の主旨 ・スケジュール ・調査方法 ・調査道具の確認	調査主体、まちづくりの専門家などが説明
チームA（4組）	09:20	福音小学校出発 ①小坂公園に徒歩で移動（直線距離約 600m）	まちづくりの専門家などが同行
	09:35	①小坂公園調査	
	09:50	②福音公園に徒歩で移動（直線距離約 400m）	
	10:00	②福音公園調査	
	10:20	福音小学校に移動（直線距離約 300m）	
チームB（3組）	09:20	福音小学校出発 ②福音公園に徒歩で移動（直線距離約 400m）	まちづくりの専門家などが同行
	09:35	②福音公園調査	
	09:55	⑤汽車ぽっぽ公園に徒歩で移動 （直線距離約 200m）	
	10:05	⑤汽車ぽっぽ公園調査	
	10:20	福音小学校に移動（直線距離約 200m）	
チームC（3組）	09:20	福音小学校出発 ③星岡公園に車で移動（直線距離約 800m）	まちづくりの専門家などが同行
	09:35	③星岡公園調査	
	09:55	④八区公園に車で移動（直線距離約 600m）	
	10:05	④八区公園調査	
	10:25	福音小学校に移動（直線距離約 800m）	
	10:40	福音小学校到着・休憩	
	10:50	各グループ公園調査のまとめ	
	11:20	・各グループ公園調査の結果発表 ・対応策の意見交換（福音公園を中心に）	専門家による講評
	12:00	終了	

## 5. 調査の実施方法

久米地区で用いた「ア 公園に対する意識調査」、「イ 公園及び周辺の防犯診断」の調査票などを例示します。

### ア 公園に対する住民等の意識調査

<調査票（久米地区の例）>

#### 「公園に対する意識調査」のお願い

##### ■調査の主旨

本調査は、安全・安心な公園を目指し、身近な公園の利用状況や利用目的、各公園に対する評価を把握し、今後の改善に役立てていくために行うものです。

対象公園は、裏に示す5カ所（①小坂公園、②福音公園、③星岡公園、④八区公園、⑤汽車ぽっぽ公園）です。

つきましては、アンケート票にご回答いただき、ご提出ください。

なお、本調査によってご回答頂いた内容については、他の目的で使用することはありません。

##### ■調査票の回収

- ◇ この調査票は平成21年 7月 日までにご記入の上、〇〇〇〇にご提出ください。
- ◇ 調査の内容や記入方法について、ご不明な点がございましたら、下記までお問い合わせください。

##### ■問い合わせ先

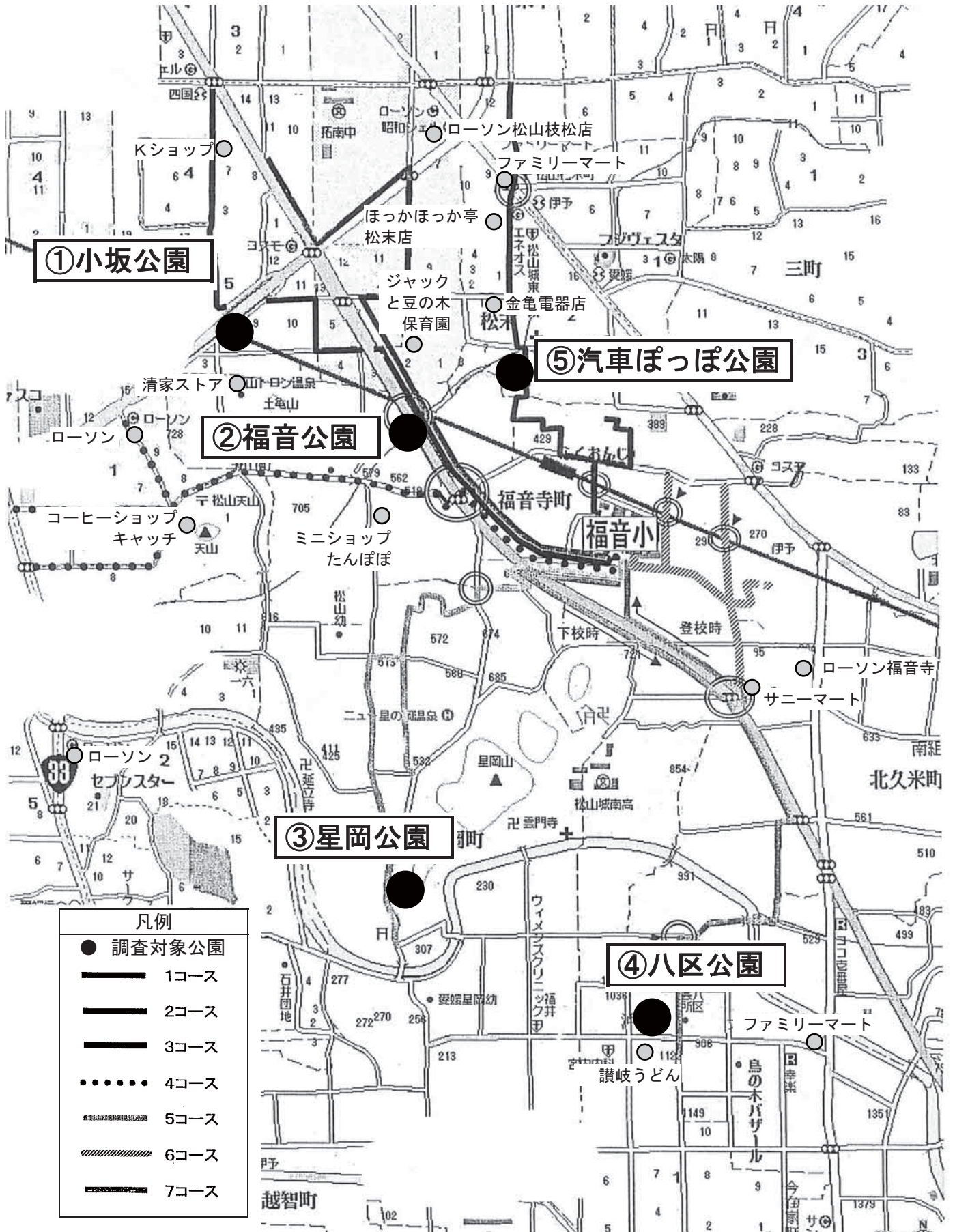
〇〇〇



平成21年7月 日  
福音小学校



■調査対象の公園位置図



## 公園に対する意識調査アンケート

年生

性別（男・女）

Q 1) あなたは、地図に示した①～⑤の公園の存在を知っていましたか。

各公園について、あてはまる番号一つに〇をしてください。

- ①小坂公園:(1. 知っていた 2. 知らなかった)
- ②福音公園:(1. 知っていた 2. 知らなかった)
- ③星岡公園:(1. 知っていた 2. 知らなかった)
- ④八区公園:(1. 知っていた 2. 知らなかった)
- ⑤汽車ぽっぽ公園:(1. 知っていた 2. 知らなかった)

Q 2) あなたの家から地図に示した①～⑤の公園までの距離はどれくらいですか。

各公園について、あてはまる番号一つに〇をしてください。

- ①小坂公園:(1. 歩いて5分以内 2. 歩いて5～10分 3. 歩いて10～15分 4. 歩いて15分以上)
- ②福音公園:(1. 歩いて5分以内 2. 歩いて5～10分 3. 歩いて10～15分 4. 歩いて15分以上)
- ③星岡公園:(1. 歩いて5分以内 2. 歩いて5～10分 3. 歩いて10～15分 4. 歩いて15分以上)
- ④八区公園:(1. 歩いて5分以内 2. 歩いて5～10分 3. 歩いて10～15分 4. 歩いて15分以上)
- ⑤汽車ぽっぽ公園:(1. 歩いて5分以内 2. 歩いて5～10分 3. 歩いて10～15分 4. 歩いて15分以上)

Q 3) あなた（保護者の方）は、地図に示した①～⑤の公園にどれくらい行きますか。

各公園について、あてはまる番号一つに〇をしてください。

- ①小坂公園:(1. 月に一度以下 2. 月に2、3回くらい 3. 週に1回くらい 4. 週に2回以上 5. 行ったことがない)
- ②福音公園:(1. 月に一度以下 2. 月に2、3回くらい 3. 週に1回くらい 4. 週に2回以上 5. 行ったことがない)
- ③星岡公園:(1. 月に一度以下 2. 月に2、3回くらい 3. 週に1回くらい 4. 週に2回以上 5. 行ったことがない)
- ④八区公園:(1. 月に一度以下 2. 月に2、3回くらい 3. 週に1回くらい 4. 週に2回以上 5. 行ったことがない)
- ⑤汽車ぽっぽ公園:(1. 月に一度以下 2. 月に2、3回くらい 3. 週に1回くらい 4. 週に2回以上 5. 行ったことがない)

Q 4) あなたが、各公園を利用する目的は何ですか。

各公園について、あてはまる番号一つに〇をしてください。

- ①小坂公園:(1. 休憩 2. 散歩 3. 草取り 4. 清掃活動 5. 運動 6. その他(\_\_\_\_\_))
- ②福音公園:(1. 休憩 2. 散歩 3. 草取り 4. 清掃活動 5. 運動 6. その他(\_\_\_\_\_))
- ③星岡公園:(1. 休憩 2. 散歩 3. 草取り 4. 清掃活動 5. 運動 6. その他(\_\_\_\_\_))
- ④八区公園:(1. 休憩 2. 散歩 3. 草取り 4. 清掃活動 5. 運動 6. その他(\_\_\_\_\_))
- ⑤汽車ぽっぽ公園:(1. 休憩 2. 散歩 3. 草取り 4. 清掃活動 5. 運動 6. その他(\_\_\_\_\_))

Q5) あなたのお子さん(このアンケートを持って来た子)は、地図に示した①～⑤の公園にどれくらい遊びに行きますか。各公園について、あてはまる番号一つに○をしてください。

- ①小坂公園:(1.月に一度以下 2.月に2,3回くらい 3.週に1回くらい 4.週に2回以上 5.行ったことがない)  
②福音公園:(1.月に一度以下 2.月に2,3回くらい 3.週に1回くらい 4.週に2回以上 5.行ったことがない)  
③星岡公園:(1.月に一度以下 2.月に2,3回くらい 3.週に1回くらい 4.週に2回以上 5.行ったことがない)  
④八区公園:(1.月に一度以下 2.月に2,3回くらい 3.週に1回くらい 4.週に2回以上 5.行ったことがない)  
⑤汽車ぽっぽ公園:(1.月に一度以下 2.月に2,3回くらい 3.週に1回くらい 4.週に2回以上 5.行ったことがない)

Q7) あなたは、①～⑤の公園で、小学生が、物を取られたり、体に危害を加えられたり、性的ないやがらせをされたりしたという話を聞いたことがありますか。ある場合、具体的な内容も教えてください。

- ①小坂公園:(1.ない 2.ある(具体的には? \_\_\_\_\_))  
②福音公園:(1.ない 2.ある(具体的には? \_\_\_\_\_))  
③星岡公園:(1.ない 2.ある(具体的には? \_\_\_\_\_))  
④八区公園:(1.ない 2.ある(具体的には? \_\_\_\_\_))  
⑤汽車ぽっぽ公園:(1.ない 2.ある(具体的には? \_\_\_\_\_))

Q8) あなたは、①から⑤の公園で、あなたのお子さん(このアンケートを持って来た子)をどの程度安心して遊ばせられますか。各公園について、あてはまる番号一つに○をしてください。

- ①小坂公園:(1.安心して遊ばせられる 2.不安だが遊ばせられる 3.不安で遊ばせられない 4.わからない)  
②福音公園:(1.安心して遊ばせられる 2.不安だが遊ばせられる 3.不安で遊ばせられない 4.わからない)  
③星岡公園:(1.安心して遊ばせられる 2.不安だが遊ばせられる 3.不安で遊ばせられない 4.わからない)  
④八区公園:(1.安心して遊ばせられる 2.不安だが遊ばせられる 3.不安で遊ばせられない 4.わからない)  
⑤汽車ぽっぽ公園:(1.安心して遊ばせられる 2.不安だが遊ばせられる 3.不安で遊ばせられない 4.わからない)

Q9) 防犯という面から見て、①～⑤の公園について、あなたが思う良い点、悪い点がありましたら、自由な言葉でご記入ください。

- |           | 良い点     | ・ | 悪い点     |
|-----------|---------|---|---------|
| ①小坂公園:    | (_____) | ・ | (_____) |
| ②福音公園:    | (_____) | ・ | (_____) |
| ③星岡公園:    | (_____) | ・ | (_____) |
| ④八区公園:    | (_____) | ・ | (_____) |
| ⑤汽車ぽっぽ公園: | (_____) | ・ | (_____) |

ご協力ありがとうございました。



## イ 公園および周辺の防犯診断

一つ一つ公園を巡り、①公園内部の設計、②立地環境の2点から調査します。調査結果は、公園ごとに地図・記入欄に書き込んでいきます。また、気になる点などを現場で写真撮影し、後で問題点を共有するのに役立てます。

①公園内部の設計については、以下のような点を調査します。

- 公園内にある、死角を作り出す設置物の存在
- 公園内部から外部への視線の通りやすさ
- 樹木の枝の繁り具合の適切さ・樹種の適切さ
- 園内でのゴミ・落書きなどの存在
- 公園内部の明るさ
- 花壇やプランターなど住民が管理できる設備
- 公園内のトイレの位置



子どもの視点に立って問題を見つけることも大切です。例えば、不審者に連れ込まれるような場所がないか、確認してみる方法があります。

②立地環境については、以下のような点を調査します。

- 公園に面する建物が、公園を見守ることができる構造であるか（窓やドアの向きなど）
- マンションなどに付属した公園（提供公園）の場合、マンションから公園を見守ることができる構造であるか
- 公園内部と外部の視線の通りやすさを妨げるものの存在（プレハブ倉庫や隣接敷地の植栽など）
- 公民館やカフェ、バス停など、近所の人が集まることのできる施設や商店の存在
- 管理されていない空き地・空き家など、ひと気がない場所の存在
- 公園周囲の道路の「みまもり量」
- 公園周囲の明るさ
- 近隣住民の主な生活動線の存在

## ■調査票（例）

調査公園	調査日時	記録者
	7月23日 時～ 時	

以下の回答欄に記入するとともに、具体的に図面上にチェック項目の番号と印、簡単なコメントをつけてください。

### 1. 公園内部の設計状況

□1-1. 公園内に子どもの姿を隠す死角をつくりだす遊具・物置などの設置物がありますか？

□1-2. 公園内部から外部への視線は通りやすいですか、目線を遮ってしまうものはないですか？

①樹木の枝の繁り具合の適切さ・樹種の適切さ

②遊具や建物の適切さ

□1-3. この公園の「好きなところ・良いところ」はどこですか？

### 2. 公園内部の管理状況

□2-1. 園内でのゴミ・落書きなどの違法行為の存在がありますか？

□2-2. 公園内部の「明るさ」は確保されていますか？

□2-3. 花壇やプランターなど住民が直接管理できる設備はありますか？

□2-4. 公園内のトイレの位置は適切ですか？

### 3. 公園の立地環境の状況

□3-1. 公園との境界部分にある建物が、公園を見守ることができる構造となっていますか？  
(窓やドアの向きなど)

□3-2. マンションなどに付属した公園（提供公園）の場合、居住者が公園を見守ることができる構造であるか

□3-3. 公園内部と外部の視線の通りやすさを妨げるものの存在はありますか？  
(プレハブ倉庫や隣接敷地の植栽など)

□3-4. 公民館やカフェ、バス停など、近所の人が集まることのできる施設や商店の存在はありますか？

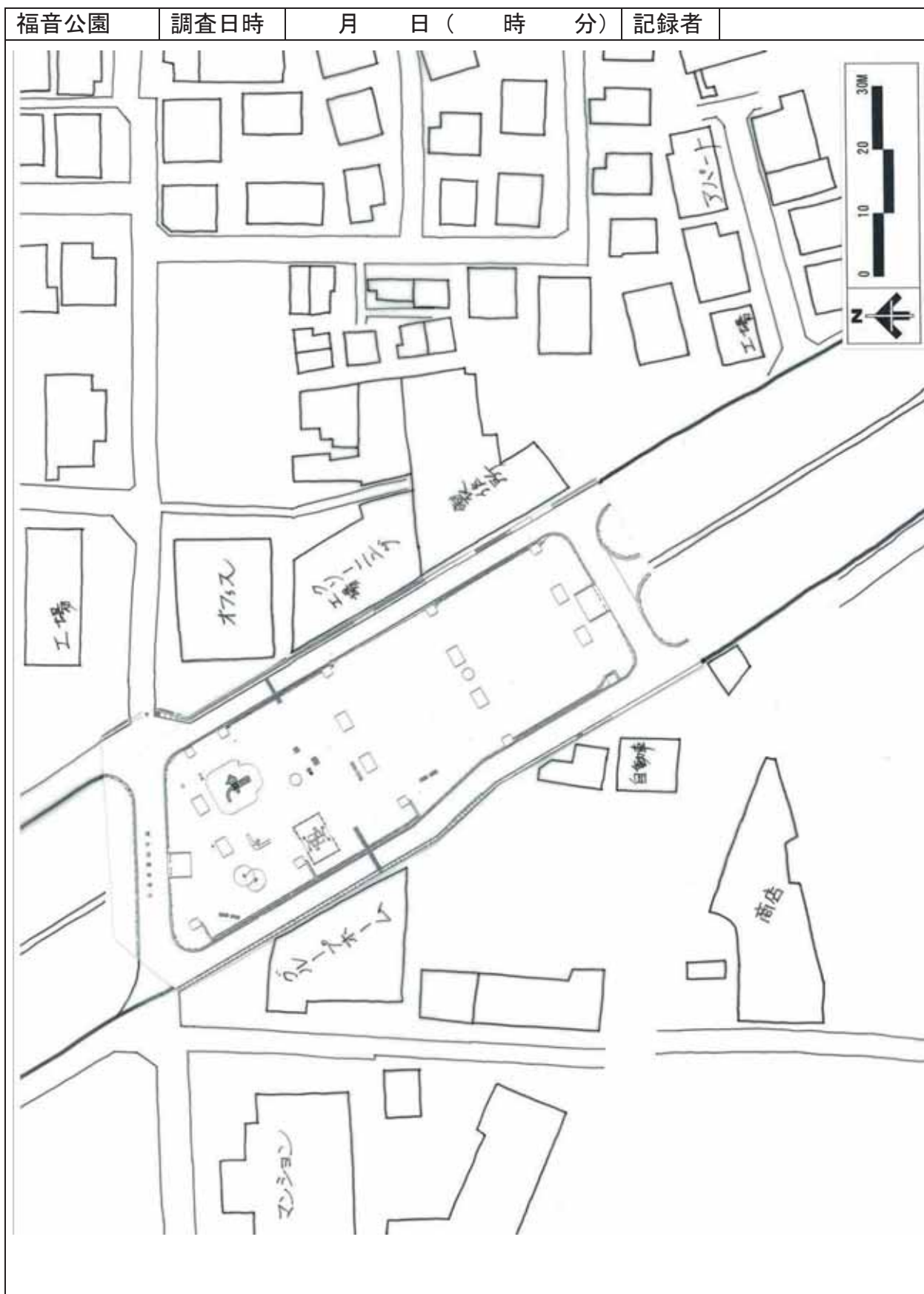
□3-5. 公園の周りには管理されていない空き地・空き家など、ひと気がない場所が存在しますか？

□3-6. 公園周囲に路上駐車や通過交通がありますか？

□3-7. 公園は近隣住民の主な生活動線沿いに位置していますか？  
また、歩行者の「みまもり量」はありますか？

□3-8. 公園周囲の「明るさ」は確保されていますか？

■周辺を含めた公園の配置図（例）





## 6. 調査にあたっての注意点


調査員には注意点として以下の内容を伝えました。

### (1) 一般的な注意事項

- 服装は、動きやすいものとして下さい。雨具（調査の支障とならないようレインコートが望ましい）は各自持参して下さい。また、晴天の際には、帽子や水等を所持し、熱中症対策を必ず行ってください。
- 集合等は時間厳守でお願いします。万一遅れる場合は速やかに下記の緊急連絡先に連絡して下さい。

### (2) 調査上の注意事項

- 調査は地元の防犯パトロール用帽子や腕章などを着用して実施して下さい。
- 調査中は事故の無いように周囲の交通状況に十分注意して下さい。
- 調査中に住民などから挨拶された場合は挨拶を返して下さい。
- 調査内容について問われた場合は、事前に配布する調査協力の依頼文を渡すか、下記の緊急連絡先に連絡して下さい。

 万が一に備えて、  
保険に加入して  
おきましょう。

### (3) 緊急連絡先など

当日の緊急連絡先：

○○携帯           —       —  
○○携帯           —       —

調査時の待機場所：



資料：調査協力の依頼文（例）

### <身近な公園調査の協力のお願い>

本調査は、調査グループを作って、実際に公園を歩きながら防犯上の問題点や防犯上良い点を点検します。地域の方々に現地調査に参加していただき、改善案に結びつけていきたいと考えています。

皆さまのご理解とご協力のほど、よろしくお願い致します。

#### ■調査日・調査時間

7月23日（木） 午前9時～正午12時までを予定

#### ■調査対象公園

対象公園は、みなさんが利用する身近な公園5カ所（①小坂公園、②福音公園、③星岡公園、④八区公園、⑤汽車ぽっぽ公園）です。



#### ■調査員・協力者

- ・地域にお住まいの皆さん（管理に携わる人など）
- ・福音小のみなさん（児童、PTA、教員）
- ・防犯ボランティアのみなさん
- ・まちづくりの専門家



